

公立大学法人名古屋市立大学
環境報告書 2021
[令和3年度版]

1 . 理事長メッセージ

パンデミック感染症、国際紛争、格差社会など国内外には多くの課題が山積みしています。本報告書に関



3 . 名古屋市立大学環境憲章

平成 24 年 4 月 1 日制定

[] 基本理念

人類の様々な活動が地球環境に大きな負荷を与えているという現実の中で、環境負荷の低減と環境の保全に努めていくことは、教育研究活動を通じて次世代を育成し、社会に貢献する大学の使命である。

名古屋市立大学では、 成晟僮©め¼難ㄣ僮璜悦覬ゐ晴僮®璘め玳喻僮œ璘Á難ㄣ僮璜悦噦碘請ほ前僮璜





全学共通の教養教育科目においては、全学部生が履修できるよう、教養教育の環境関

基本方針 2

学生の学内、地域社会、国内外における環境保全活動への自主的な参画・取り組みに対して積極的に支援していく。

国際的な支援活動や国際協力活動を行う国際交流機関や団体等へのインターン

**環境分野に係る外部研究資金獲得に向けて公募情報を発信するなど研究支援の
実施**

ア サイエンスパートナーシップイベント「生命の源としくみを探る」の開催
名古屋市科学館との連携により中高生向けに生命の起源に関する講演会を開催

中日 SDGs

- 2 ガス使用量

用紙類使用量

用紙類の総使用量については、アクションプランにおいて、前アクションプラン期間（平成30年度～令和2年度）の平均使用量（職員一人当たり）32 kg以下の量となるよう削減に努めるとしています。これに対し、令和3年度の使用量は職員一人当たり30.3 kgとなり、目標を達成することができました。

継続して使用量を削減する努力を積み重ねてきていることから、今後も、webを活用した会議の実施、両面印刷及び裏紙利用の徹底など、日常的な削減努力を続けていきたいと考えています。

なお、使用して廃棄した用紙類は、委託業者によってリサイクル処理されています。

東部医療Cおよび西部医療CはR3年度より名古屋市立大学医学部の附属病院となりました。

一般廃棄物排出量

感染性一般廃棄物を除く一般廃棄物の総排出量については、アクションプランにおいて、前アクションプラン期間（平成30年度～令和2年度）の平均排出量（職員一人当たり）165 kg以下の量となるよう削減に努めることとしています。これに対し、令和3年度の総排出量は職員一人当たり169.3 kgとなり、比較においては、令和3年度総使用量が約2.6%高い値となりました。

今後も、雑がみを一般廃棄物にせず分別してリサイクルする等、一般廃棄物の排出量削減に努めてまいります。

東部医療Cおよび西部医療CはR3年度より名古屋市立大学医学部の附属病院となりました。

医療廃棄物の処理

附属病院属 9 唾き ° 阴 ò 流れ量医慮廃棄扱 鏝 豈性 齋 齏 廃棄服 9 感染性 賣き 仆 む 齏 闕 井 穴

西部医療センターは、毎年名古屋市環境局の立入検査（実地調査及び書類確認）においても廃棄物処理は適切であると評価されています。令和3年度は、669tの医療廃棄物を業者委託により回収し、適正に処物しました。

省エネルギー対策の推進

LED 4 化の推進

順次、LED 4 器具に切り替えを実施しております。平成30年度から本格的に導

基本方針 7



改修工事や設備更新などにより可能な箇所について、LED 照明器具への切り替えを進めています。

西部医療センターは、これまでの地域周産期母子医療センター、がん診療拠点病院、災害拠点病院等の国や県から認定された役割だけでなく、大学病院としてより一層高



【参考資料】公立大学法人名古屋市立大学の概要

➤ 予算
歳入

(単位：千円)



【参考資料】環境報告ガイドライン（2018年版）との比較

環境報告ガイドライン 2018	ページ
-----------------	-----

報告対象組織